

## ジェニナック錠 200mg

## 【この薬は？】

|              |  |
|--------------|--|
| 販売名          | ジェニナック錠 200mg<br>Geninax Tablets 200mg         |
| 一般名          | メシル酸ガレノキサシン水和物<br>Garenoxacin Mesilate Hydrate |
| 含有量<br>(1錠中) | 253.53mg<br>(ガレノキサシンとして 200mg)                 |

## 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」  
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

## 【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、キノロン系経口抗菌剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・ この薬は、細菌の増殖に必要な酵素を阻害することにより、殺菌作用を示します。
- ・ 次の病気の人に処方されます。

## ＜適応症＞

咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、中耳炎、副鼻腔炎

## ＜適応菌種＞

ガレノキサシンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌（ペニシリン耐性肺炎球菌を含む）、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、大腸菌、クレブシエラ属、エンテロバクター属、インフルエンザ菌、レジオネラ・ニューモフィラ、肺炎クラミジア（クラミジア・ニューモニエ）、肺炎マイコプラズマ（マイコプラズマ・ニューモニエ）

- ・ この抗菌薬は自己判断で飲むのを止めたり、飲む量を減らしたりしないでく

ださい。指示通りにきちんと飲まない、治療効果が低下するばかりでなく、原因菌がこの薬の効かない菌に変化したり、他の抗菌薬も効かなくなったりする可能性があります。医師の指示通りに飲むことが大切です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
  - ・過去にジェニナック錠に含まれる成分や他のキノロン系抗菌剤で過敏症のあった人
  - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
  - ・小児
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
  - ・てんかんなどでけいれん発作をおこすことがある人、または過去にてんかんなどでけいれん発作をおこしたことがある人
  - ・QT延長のある人
  - ・糖尿病あるいは耐糖能異常のある人
  - ・収縮期血圧が90 mmHg以下の人
  - ・重症筋無力症の人
  - ・大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群など）のある人
- ショックやアナフィラキシーがおこることがあるので、過去にアレルギーがあった人や薬で過敏症のあった人は、医師に伝えてください。
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群など）のある人は、画像検査が行われることがあります。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、1日1回2錠です。

なお、腎機能に高度の障害のある人は、使用量が調節されることがあります。

### ●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れた場合は、気がついたときに1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合には1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・意識障害（気を失う、もうろう状態）などがあらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作を行う場合には、十分に注意してください。
- ・大動脈瘤、大動脈解離があらわれることがあるので、腹部、胸部、背部に痛みなどの症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。これにより画像検査が行われることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は、この薬を使用することはできません。妊娠の可能性があるときは、すぐに医師に相談してください。
- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

| 重大な副作用   | 主な自覚症状  |
|--|---|
| ショック   | 冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失   |
| アナフィラキシー   | 全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい  |
| 皮膚粘膜眼症候群<br>（スティーブンス・ジョンソン症候群）<br>ひふねんまくがんしょうこうぐん<br>（ステーブンス-ジョンソンしょうこうぐん） | 発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する                                  |
| 徐脈<br>じよみやく  | めまい、立ちくらみ、息切れ、脈が遅くなる、脈がとぶ、気を失う  |
| 洞停止<br>どうていし   | めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ   |
| 房室ブロック<br>ぼうしつ   | めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ   |
| QT延長<br>えんちょう  | めまい、動悸、気を失う   |
| 心室頻拍（トルサードポアントを含む）<br>しんしつひんぱく   | めまい、動悸、胸の不快感、気を失う   |
| 心室細動<br>しんしつさいどう   | 気を失う  |
| 劇症肝炎<br>げきしょうかんえん  | 急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混ざる（鮮紅色～暗赤色または黒色） |
| 肝機能障害<br>かんきのうしょうがい  | 疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振   |
| 低血糖<br>ていけつとう  | お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下  |
| 偽膜性大腸炎<br>ぎまくせいだいちょうえん   | 腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる                                |
| 無顆粒球症<br>むかりゅうきゅうしょう   | 突然の高熱、寒気、喉の痛み   |

| 重大な副作用                                 | 主な自覚症状   |
|--|--|
| 血小板減少<br>けっしょうばんげんしょう                  | 鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい                         |
| 横紋筋融解症<br>おうもんきんゆうかいしょう                | 手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる                    |
| 幻覚、せん妄等の精神症状<br>げんかく、せんもうとうのせいしんしょうじょう | 実際には存在しないものを存在するかのようを感じる、軽度の意識混濁、興奮状態、幻覚、妄想          |
| 痙攣<br>けいれん                             | 顔や手足の筋肉がびくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える      |
| 間質性肺炎<br>かんしつせいはいえん                    | 咳、息切れ、息苦しい、発熱  |
| 好酸球性肺炎<br>こうさんきゅうせいはいえん                | 発熱、咳、息切れ、息苦しい  |
| 重症筋無力症の悪化<br>じゅうしょうきんむりよくししょうのあくか      | まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感、食べ物が飲み込みにくい          |
| 急性腎障害<br>きゅうせいじんしょうがい                  | 尿量が減る、むくみ、体がだるい                                      |
| 大動脈瘤<br>だいどうみやくりゅう                     | 声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる、息苦しい、食べ物が飲み込みにくい、腹痛、胸の痛み、背中の痛み |
| 大動脈解離<br>だいどうみやくかいり                    | 激しい腹痛、激しい胸の痛み、激しい背中の痛み                               |

同類薬（キノロン系抗菌剤）であらわれる、特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあらわれる可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

| 重大な副作用  | 主な自覚症状   |
|---|--|
| 中毒性表皮壊死融解症 (TEN)<br>ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (テン) | 皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ                            |
| 間質性腎炎<br>かんしつせいじんえん                           | 発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、むくみ、尿量が減る                             |
| 高血糖<br>こうけつとう                                 | 体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える                                 |
| 汎血球減少症<br>はんけつきゅうげんしょうじょう                     | めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み            |
| アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害<br>けんえん、けんだんれつとうのけんしょうがい      | アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、注射した指の関節を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射した指の関節が曲がらない |

| 重大な副作用        | 主な自覚症状                    |
|---------------|---------------------------|
| 血管炎<br>けっかんえん | 発熱、手足のしびれ、皮下出血によるあざ、皮膚の潰瘍 |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

| 部位  | 自覚症状  |
|-----|---|
| 全身  | 冷汗が出る、発熱、ふらつき、出血が止まりにくい、突然の高熱、寒気、出血しやすい、疲れやすい、けいれん、体がだるい、体重が減る、顔や手足の筋肉がびくつく、脱力感、むくみ、力が入らない、体がかゆくなる、急激に体重が増える                      |
| 頭部  | めまい、意識の消失、気を失う、立ちくらみ、頭痛、意識の低下、一時的にボーっとする、実際には存在しないものを存在するかのようを感じる、軽度の意識混濁、興奮状態、妄想、急な意識の低下   |
| 顔面  | 顔面蒼白、鼻血、血の気が引く、   |
| 眼   | 目の充血やただれ、まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える、幻覚、白目が黄色くなる   |
| 耳   | 耳鳴り   |
| 口や喉 | 咳、吐き気、唇や口内のただれ、喉のかゆみ、歯ぐきの出血、喉の痛み、喉が渇く、水を多く飲む、食べ物が飲み込みにくい、嘔吐、血を吐く、声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる  |
| 胸部  | 息切れ、動悸、胸の不快感、息苦しい、胸の痛み、激しい胸の痛み  |
| 腹部  | 腹痛、お腹がすく、食欲不振、お腹が張る、激しい腹痛   |
| 背中  | 背中での痛み、激しい背中での痛み  |
| 手・足 | 手足が冷たくなる、脈が遅くなる、脈がとぶ、手足のしびれ、手足のふるえ、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、注射した指の関節を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射した指の関節が曲がらない、手足のこわばり、関節の痛み |
| 皮膚  | 円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、全身のかゆみ、じんま疹、皮下出血によるあざ、皮膚の潰瘍、あおあざができる、発疹、皮膚が黄色くなる                 |
| 筋肉  | 筋肉の疲労感、筋肉の痛み  |
| 便   | 血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、下痢、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）  |
| 尿   | 尿量が増える、尿が赤褐色になる、尿量が減る、尿の色が濃くなる  |

## 【この薬の形は？】

|          |   |
|----------|---|
| P T Pシート |            |
| 形状       | 円形の錠剤   |
|          | 表・裏・側面<br> |
| 直径       | 8.6 mm  |
| 厚さ       | 4.7 mm  |
| 重さ       | 306mg   |
| 色        | 淡橙色   |

## 【この薬に含まれているのは？】

|      |   |
|------|---|
| 有効成分 | メシル酸ガレノキサシン水和物  |
| 添加物  | 結晶セルロース、軽質無水ケイ酸、カルメロースカルシウム、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、トリアセチン、三二酸化鉄、黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ |

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

発売会社：アステラス製薬株式会社 (<http://www.astellas.com/jp/>)

くすり相談センター

電話：0120-865-093

受付時間：9時～17時30分（土、日、祝日、会社休日を除く）

販売提携会社：大正製薬株式会社 (<https://www.taisho.co.jp>)

メディカルインフォメーションセンター

電話：0120-591-810

受付時間：9時～17時30分

（土・日・祝日、当社休日を除く）

製造販売会社：富士フイルム富山化学株式会社